

# 「隣の殺人者」のレビュー(The Murderer Next Door) by David Buss (2005) (2019年改訂)

Michael Starks

## 抽象

この巻は少し古いですが、殺人の心理学を特に扱う最近の人気のある本はほとんどなく、数ドルで利用可能な簡単な概要なので、それでも努力する価値があります。それは包括的な試みを行うおらず、読者は彼の他の多くの本と暴力に関する膨大な文献から空白を埋めることが期待されている場所でやや表面的です。更新については、例えば、バス、進化心理学のハンドブック第2位 v1 (2016) p 265、 266, 270-282, 388-389, 545-546, 547, 566, 進化心理学第5回,(2015年) p 26, 96-97, 223, 293-4, 300, 309-312, 410 およびシャックフォードハンセンと進化 200444 暴力.彼は数十年にわたりトップの進化心理学者の一人であり、彼の作品の中で幅広い行動をカバーしていますが、ここでは、個々の人々が殺害を引き起こす心理的メカニズムとEEA(進化適応の環境、すなわち過去100万年ほどの間のアフリカの平原)におけるその可能な進化機能にほぼ完全に集中しています。

バスは、他の行動と同様に、精神病理学、嫉妬、社会環境、集団圧力、薬物、アルコールなどの「代替」説明は、なぜこれらの殺人的衝動を生み出すのかという疑問がまだ残っているので、彼らは近位の原因であり、究極の進化(遺伝的)ものであるわけではないことを知ることによって始まります。いつものように、それは必然的に包括的なフィットネス(親族の選択)に煮詰まるので、すべての生物のすべての行動のための究極の説明である仲間やリソースへのアクセスのための闘争に。社会学的データ(および常識)は、若い貧しい男性が殺す可能性が最も高いことを明らかにしています。彼は、先進国からの殺人データ、部族文化、動物における特異な殺害、考古学、FBIデータ、そして通常の人々の殺人ファンタジーに関する彼自身の研究を提示します。多くの考古学的証拠は、先史時代に、グループ全体、または若い女性を差し引いたグループを含む殺人の蓄積を続けています。

Bussのコメントを調査した後、私は私の他の多くの記事や本で広く取り上げられている意図的心理学(合理性の論理的構造)の非常に簡単な要約を提示します。

進化的な観点から殺人的暴力の詳細な歴史を望む多くの時間を持つ人は、スティーブン・ピンカーの「なぜ暴力が衰退したのか私たちの自然のより良い天使たち」(2012)に相談し、私のレビューはネットと私の最近の本の2冊で簡単に入手できます。簡単に言えば、ピンカーは、殺人は飼育者として私たちの時代から約30倍の着実かつ劇的に減少していると指摘しています。だから、銃は今では誰もが殺すことを非常に簡単にしているにもかかわらず、殺人ははるかに一般的ではありません。ピンカーは、これは私たちの「より良い天使」を引き出す様々な社会的メカニズムによるものだと考えていますが、主に私たちの惑星の無慈悲な強姦からの資源の一時的な豊富さ、警察の存在の増加と相まって、それが罰せられる可能性ははるかに高い通信と監視と法制度によるものだと思います。これは、警察の短い、地元の不在さえあるたびに明らかになります。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、運命の惑星における「話す猿--哲学、心理学、科学、宗教、政治—記事とレビュー2006-2019 第3回(2019)」と21世紀5日(2019年)の自殺ユートピア妄想<sup>st</sup> Century 5<sup>th</sup> ed (2019)などを見ることができます。

バスは、他の行動と同様に、精神病理学、嫉妬、社会環境、集団圧力、薬物、アルコールなどの「代替」説明は、なぜこれらの殺人的衝動を生み出すのかという疑問がまだ残っているので、彼らは近位の原因であり、究極の進化(遺伝的)ものであるわけではないことを知ることによって始まります。いつものように、それは必然的に包括的なフィットネス(親族の選択)に煮詰まるので、すべての生物のすべての行動のための究極の説明である仲間やリソースへのアクセスのための闘争に。社会学的データ(および常識)は、若い貧しい男性が殺す可能性が最も高いことを明らかにしています。彼は、先進国からの殺人データ、部族文化、動物における特異な殺害、考古学、FBIデータ、そして通常の人々の殺人ファンタジーに関する彼自身の研究を提示します。多くの考古学的証拠は、先史時代に、グループ全体、または若い女性を差し引いたグループを含む殺人の蓄積を続けています。

p 12で、彼は、資源をめぐる各個人と世界中の戦争は、概念、母親の食べ物を奪い、彼女の体を強調することによ

て成長し始め、そして彼女のシステムが概念のために頻繁に致命的な結果で反撃するとき、概念から始まると指摘しています。彼は、自発的中絶の推定値がすべての概念の約30%の範囲にあることを教えておらず、年間8000万人もの人が死亡し、母親が妊娠していることを知らないほど早く、おそらく彼女の生理は少し遅れています。これは、私たちが敗北に成功していない自然の優生学の一部です。 文明の全体的な異形成効果は続いており、毎日生まれた約30万人は、世界人口が20万人増加し、地球を破壊するためにこれまで以上に大きな「不適當な」人口を持つ約10万人よりも、平均して肉体的にわずかにフィットしていない。

p13では、OJシン普森が有罪であったことははっきりとは分からないと言いますが、裁判に関係なく、彼の奇妙な行動を含む事件の事実の唯一の合理的な解釈なので、私たちは彼が知っていると言うでしょう。また、数百万ドルの弁護士が司法を覆すために出席していなかったその後の民事裁判では、彼はすぐに有罪判決を受け、資産の添付につながり、武装強盗の有罪判決と投獄につながった。

彼はp20に関して、過去100年間に世界中で約1億件の既知の殺人事件があり、報告されていないすべての殺人が含まれていれば、おそらく3億件の殺人があったと指摘している。彼は中国共産党(約100万人ではない)によって約4000万を数えるとは思わない。飢えた6000万人、スターリンの1000万人。 また、ほとんどの犠牲者の犠牲者を救う世界クラスの医療システムにより、アメリカの殺人率は約75%減少することを念頭に置いておく必要があります。私は、メキシコは約20倍の米国とホンジュラスの殺人率を約5倍持っており、あなたの子孫は確かにアメリカの多様性の致命的な抱擁のために、その方向に移動する私たちのレートを楽しみにすることができると付け加えます。「アディオス・アメリカ」(2015年)のアン・コールターは、ヒスパニックが過去数十年間にここで約23,000件の殺人を犯したと指摘しています。今のところ、何も行われず、国境が解散し続け、環境崩壊と倒産に近づくにつれて、ここで犯罪は経済を解消するにつれて、メキシコのレベルに達するでしょう。2014年だけでも、100人の米国市民が殺害され、130人以上が誘拐され、他の人が失踪し、他の外国人やメキシコ人を加えれば数千人に及ぶ。詳細については、私の「民主主義による自殺」2<sup>nd</sup> ed(2019年)を参照してください。

ホンジュラスのような小さな軽い旅行国でさえ、米国市民の年間約10件の殺人と2件の誘拐を管理しています。そして、これらは最高の時代であり、拘束されていない母性と資源枯渇が崩壊をますます近づけるにつれて、着実に悪化しています。 あらゆる種類の犯罪の継続的な増加に加えて、我々は第三世界の非常に低いレベルに落ちる犯罪の割合が減少することがわかります。他のどの犯罪よりも多くの資源が殺人の解決に専念しており、約65%が米国で解決されていますが、メキシコでは2%未満が解決され、メキシコシティからさらに進むにつれて、レートはゼロに近くなります。また、このレートは以前は約80%であったが、それは多様な増加と並行して低下していることに注意してください。また、65%は平均ですが、統計を得ることができれば、都市のユーロの割合で上昇し、多様な割合が増加するにつれて低下すると確信しています。デトロイト(83%ブラック)では、わずか30%が解決されます。誰が強盗、強姦、殺人を犯したのかを追跡すれば、黒人の命が他の黒人よりもユーロ(ヨーロッパ系のもの)にとって非常に重要であることは明らかです。これらは私の観察です。

歴史を通じて、女性は殺人に関しては大きな不利な立場にあったが、銃の準備が整えば、これが変わることを期待しているが、p22では、米国の殺人者の約87%が男性であり、同性殺害の場合、これは95%に上昇し、世界中で同じである。明らかに男性の精神の何かが、女性にはほとんど存在しないフィットネスへのルートとして暴力を奨励しています。また、知人による殺人は見知らぬ人よりも一般的であるということも関連しています。

p37では、彼は有罪判決の可能性が高いと指摘しています(そして、私は意図した犠牲者や他の人が武装する可能性が高いと言うでしょう)、殺人は今では以前よりも高価な戦略ですが、これはあなたが誰であるかに完全に依存すると思います。主にユーロUSAの都市では、または中流階級と上流階級の人々の間で、殺人の95%以上が解決されるかもしれませんが、下層階級の地域では20%かもしれないし、ギャングが支配する地域にとってはそれよりもさらに少ないです。そして、第3世界の国々では、特にギャングメンバーによって犯された場合、正義の可能性はさらに低いので、特に事前に計画されている場合は、非常に実行可能な戦略です。

次に、彼は明らかに私たちの進化を通じて行われてきた交配戦略の一環として暴力と殺人を扱い、特に下層階級や第三世界諸国の間でそう残っています。彼は、別れの間または後に男性による妻や恋人の頻繁な殺人に注意してください。彼は仲間の選択と不貞を渡すことにコメントしますが、これらのトピックは彼の他の著作や編集されたボリュームで非常に詳細に扱われるので、最小限の議論があります。女性は、彼らが永久的なパートナー(セクシーな息子理論)として選択しないセクシーな男性との関係を持っている傾向があり、彼らの最も肥沃な日に彼らと交尾する傾向があることがよく知られています。これらの現象はすべて進化的な観点から見ています(すなわち、フィットネスの利点は以前は何であったでしょうか)。

「グループ選択」が強く選択されているのと同じ理由で、男性が他の誰かによって父親の子供を育てるのを妨げる行動には非常に強い選択があります(グループセレクション「利他主義、イエスと世界の終わり」に関する私のエッセイを参照してください)。しかし、現代の生活は事務のための十分な機会を提供し、遺伝学的研究は、子供の高い割合が母親のputativeパートナー以外の父親であり、その割合は様々な時代に様々な現代西洋諸国の上層階級から下層階級に降りると数%から30%まで増加し、間違いなく多くの第3世界諸国よりも高いことが示されています。ロビン・ベイカーは著書『精子戦争:セックスの科学』(2006年)の中で、「実際の数字は、米国とスイスの高い地位地域で1%から、米国とイギリスの中程度の男性では5~6%、米国、イギリス、フランスの低位の男性では10~30%に及ぶ」と要約しています。男性と女性の両方が都市に集中し、携帯電話を持っている社会では、特に避妊と中絶の使用が不安定な第三世界では、この割合が上昇していると思うかもしれません。

彼は、仲間を殺害するほとんどの男女が若く、仲間が若ければ若いほど、彼らが殺される可能性が高いことを発見しました。すべての行動と同様に、これは進化的な視点なしでは説明しにくいです。ある研究では、40代の男性は仲間殺人犯の23%を占めているが、50代の男性はわずか7.7%、女性の仲間殺人犯の79%は16歳から39歳の間であった。若ければ若いほど、男性に対する潜在的なフィットネス損失(生殖の減少)が大きくなり、感情的な反応が強くなります。バスが言うように:「オーストラリアからジンバブエまで、若い女性は、性的な不貞やロマンチックな関係の結果として殺される可能性が高くなります。15歳から24歳の女性が最大の危険にさらされている」高い割合は、分離の2ヶ月以内に殺され、最も最初の年に殺されます。ある研究では、88%が殺害される前にストーカー行為を受けていたことがわかりました。いくつかの章では、彼らの不誠実な仲間についての感情を与える人々からの引用があり、これらは通常、より激しく、女性よりも男性のために長い期間続いた殺人的なファンタジーが含まれています。

彼は、例えば、彼女の父親が継父である場合、約10倍増加する強姦の女の子へのリスク、例えば、虐待や殺人のリスクの増加に時間を費やしています。現在、幅広い哺乳類では、若い女性に遭遇した新しい男性がそれらを殺そうとすることが非常によく知られています。ある米国の調査によると、一方または両方の両親が代理人である場合、これは40から100x(p174)の間の家庭で殺害される可能性を高めることがわかりました。カナダの調査によると、登録された結婚の親の一人が義理の親である一方で、サロゲートが住み込みのボーイフレンドであれば200倍以上上昇した場合、殴打死亡率は27倍に上昇しました。カナダの児童虐待率は、義理の親がいた時に40倍上昇した。

人間では、資源を持たないことは、女性が新しい仲間を引き付けるために既存の子供を排除するための強い刺激です。カナダの調査によると、独身女性は全母親の12%に過ぎなかったにもかかわらず、殺虫剤の50%以上を犯した(p169)。若い女性は年配の女性よりも乳児の死亡から少ないフィットネスを失うので、異文化間の研究で、10代の若者が20代の女性の約30倍の割合で乳児を殺したことが判明したのは驚くべきことではありません(p170)。

その後、連続殺人犯と連続強姦犯について簡単に話し合い、最も成功したのはジンギスカンのモンゴル人で、Y染色体は彼らが支配する地域のすべての男性の約8%、または約2,000万人の男性(そして同数の女性)、または地球上のすべての人々の約半分に代表されています。

この巻は少し古いですが、殺人の心理学を特に扱う最近の人気の本はほとんどなく、数ドルで利用可能な簡単な概要なので、それでも努力する価値があります。それは包括的な試みを行うおらず、読者は彼の他の多くの本と暴力に関する膨大な文献から空白を埋めることが期待されている場所でやや表面的です。更新情報は、例えば、バス、進化心理学ハンドブック第2出V1(2016)p 265、266、270-282、388-389、545-546、547、566 とバス、進化心理学 5th ed. (2015) p 26、96-97,223、293-4、300、309-312、410 シャッケルフォードとハンセン、暴力の進化 (2014) 彼は数十年にわたってトップ進化心理学者の一人であり、幅広い行動の範囲をカバーしていますしかし、ここで彼は、個々の人々が殺害する心理的メカニズムとEEA(進化適応の環境、すなわち過去100万年ほどの間のアフリカの平原)における進化の機能にほぼ完全に集中しています。

進化的な観点から殺人的暴力の詳細な歴史を望む多くの時間を持つ人は、スティーブン・ピンカーの「私たちの自然のより良い天使たち-なぜ暴力が衰退したのか」(2012)と、その私のレビューをネットと私の最近の本の2冊で簡単に入手できます。簡単に言えば、ピンカーは、殺人は飼育者として私たちの時代から約30倍の着実かつ劇的に減少していると指摘しています。だから、銃は今では誰もが殺すことを非常に簡単にしているにもかかわらず、殺人ははるかに一般的ではありません。ピンカーは、これは私たちの「より良い天使」を引き出す様々な社会的メカニズムによるものだと考えていますが、主に私たちの惑星の無慈悲な強姦からの資源の一時的な豊富さ、警察の存在の増加と相まって、それが罰せられる可能性ははるかに高い通信と監視と法制度によるものだと思います。これは、警察の短い、地元の不在さえあるたびに明らかになります。

他の人はまた、私たちは遺伝的に生まれつき、私たちと密接に関連していない人(「グループ選択」)の有利な扱いを支持する「素敵な側面」を持っているという見解を取ります。これは絶望的に混乱しており、テンプレート財団がハーバード大学教授職を買収し、進化、合理性、文明を攻撃した方法である「利他主義、イエスと世界の終わり」で休むために私の小さな部分を果たしてきました。E.O.ウィルソン「地球の社会的征服」(2012年)とノワクとハイフィールドの「スーパーコオペレーター」(2012年)のレビュー。

現代の2つのシス・エムスの見解から人間の行動のための包括的な最新の枠組みを望む人は、私の著書「ルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタインとジョン・サールの第2回(2019)における哲学、心理学、ミンと言語の論理的構造」を参照することができます。私の著作の多くにご興味がある人は、「話す猿--運命の惑星における哲学、心理学、科学、宗教、政治--2006-2019第2回(2019年)と自殺ユートピア妄想(2019<sup>st</sup> Century 4<sup>th</sup>年)の記事とレビュー」を見ることができます。

私は今、私の他の多くの記事や本で広くカバーされている意図的心理学(合理性の論理的構造)の非常に簡単な要約を提示します。衝動的な暴力は、システム1の自動皮質下機能を伴うが、時には皮質システム2を介して事前に審議される。

約100万年前、霊長類は喉の筋肉を使って複雑な一連のノイズ(つまり、スピーチ)を作る能力を進化させました。私たちは徐々に記憶、態度、潜在的な出来事(過去と未来、しばしば反事実、条件付きまたは架空の好み、傾向または性質)を記述するために空間と時間の変位を包含するさらなる能力を開発しました。好みは直感、傾向、自動腫瘍学的ルール、行動、能力、認知モジュール、性格特性、テンプレート、推論エンジン、傾斜、感情、提案態度、鑑定、能力、仮説です。

感情はType 2の好み(ウィトゲンシュタインRPP2 p148)です。「私は信じています」「彼は愛している」「彼らは考える」は、通常、時空に避難する可能性のある公共の行為の記述です。私自身に関する私の一人称声明は真の唯一のもの(嘘を除く)ですが、他人に関する第三者の声明は真実または虚偽です(ジョンストンの私のレビューを参照してください-「ヴィトゲンシュタイン:内面を再考する」)。

合理性の論理的構造(高次思考の記述心理学)に関する合理的なスタートを切ったので、私は過去数年間に構築したこの作品から生じる意図的性の表を見ることができます。これは、今度はヴィトゲンシュタインに多くを負っているサールからはるかに簡単なものに基づいています。私はまた、過去9行に証明されている思考プロセスの心理学で現在の研究者によって使用されている変更されたフォームテーブルに組み込まれています。ピーター・ハッカーの人間性に関する最近の3巻のものと比較することは興味深いはずですが。この表は、S1とS2の間の多くの(おそらくすべて)経路が双方向である多数の(おそらくすべて)経路を持つ、最終的な分析や完全な分析ではなく、私が見た他のどのフレームワークよりも完全に有用な動作を記述するためのヒューリスティックとして提供します。また、S1とS2の間の非常に区別、認知と意欲、知覚と記憶、感情、知ること、信じる、期待するなど、任意です-つまり、Wが示したように、すべての単語は文脈的に敏感であり、ほとんどがいくつかの全く異なる用途(意味またはCOS)を持っています。

意図的性は、人格として、または社会的現実の構築(サールの有名な本のタイトル)として、また他の多くの視点から見ることができます。

1930年代のルートヴィヒ・ヴィトゲンシュタイン(青と茶色の本)の先駆的な作品から始まり、彼の後継者サール、モヤール・シャーロック、リード、ベイカー、ハッカー、スターン、ホーウィッチ、ウィンチ、フィンケルシュタイン、コリバなどによる50年代から現在まで、私はこの研究を進めるためのヒューリスティックとして次のテーブルを作成しました。行は様々な側面または研究方法を示し、列は、合理性(LSR)の論理構造(LSC)の2つのシステム(二重プロセス)を含む不随意プロセスと自発的行動を示しており、これは合理性(LSR)の論理構造(LSB)、人格(LSB)、マインド(LSM)、言語(LSL)、現実(LSOR)、現実(LSOR)の古典的な哲学的な用語意識の記述心理学(DPC)、思考の記述心理学(DPT)、より良い、思考の記述心理学(LDPT)の言語、ここで紹介された用語、そして私の他の非常に最近の著作。

私は、サールの「満足の条件に満足の条件を押し付ける」を「筋肉を動かすことによって精神状態を世界に関連付ける」に変更することで、行動をより明確に記述できることを示唆しています。話し、書き込み、そして彼の「フィットの世界の方向への心」と「世界からフィットする方向を気にする」による「原因は心の中に由来する」と「原因は世界に由来する」S1は、S2がコンテンツを持ち、下向きに因果関係(世界への心)を持っている間、上向きの因果関係(世界から生じる)と満足のいかない(表現や情報を欠いている)だけです。行動をより明確に説明する 私はこ



## 意思決定研究から

	好きになる傾向がある*	感情	メモリ	知覚	欲望	PI**	IA***	アクション / 語
サブリミナル効果	ない	はい/ ない	はい	はい	ない	ない	ない	はい/ ない
連想 (A) ルールベース (RB)	RB	A/RB	A	A	A/RB	RB	RB	RB
状況依存 (CD) 抽象化 (A)	A	CD/A	CD	CD	CD/A	A	CD/A	CD/A
シリアル (S) 平行 (P)	S	S/P	P	P	S/P	S	S	S
ヒューリスティック (H) 分析 (A)	A	H/A	H	H	H/A	A	A	A
アクティブが必要 記憶	はい	ない	ない	ない	ない	はい	はい	はい
一般的なインテリジェンス 依存	はい	ない	ない	ない	はい/ ない	はい	はい	はい
認知的ローディング 抑制	はい	はい/ ない	ない	ない	はい	はい	はい	はい
覚醒は 促進 (F) または抑制 (I)	I	F/I	F	F	I	I	I	I

S2の満足度の公共条件は、多くの場合、Searleと他の人によってCOS、表現、真実作成者または意味(または自分でCOS2)と呼ばれ、S1の自動結果は他の人(または自分でCOS1)のプレゼンテーションとして指定されます。

\*設定、機能、設定、表現、可能なアクションなど

\*\* Searleの以前の意図

\*\*\* Searleの意図の実行

\*\*\*\* Searleのフィット方向

\*\*\*\*\*サールの因果関係

\*\*\*\*\* (精神状態がインスタンス化されます-それ自体を引き起こしたり実行したりします)。サールはこれを因果的に自己参照と呼んでいた。

\*\*\*\*\* Tversky / Kahneman / Frederick / Evans / Stanovichによって定義された認知システム。

\*\*\*\*\*異なる場所、異なる時間 (TT) 現在の時刻と場所 (HN)

この表の詳細な説明は、私の他の著作で与えられています。

特定の文脈で言語の可能な用途(意味、真実作成者、満足の条件)を記述した後、私たちはその関心を使い果たし、説明(哲学)の試みは真実から遠ざかるというヴィトゲンシュタインの発見を常に念頭に置くべきです。このテーブルは、非常に単純化されたコンテキストフリーのヒューリスティックであり、単語の各使用は、そのコンテキストで調べる必要があることに注意することが重要です。文脈変動の最良の検討は、ピーターハッカーの人間の性質上の最近の3巻で、この1つと比較されるべき多数のテーブルとチャートを提供しています。